

令和4年度第1回名取市文化振興懇話会会議報告書

- 1 日 時 令和4年11月29日(火) 10:00～11:26
- 2 場 所 名取市教育委員会 会議室4
- 3 出席者 委員10名
徳竹亜紀子委員・佐藤龍哉委員・鈴木博幸委員・本郷一浩委員
渋谷武志委員・洞口のり子委員・折笠昭吉委員・赤沼貴子委員
松藤伸太郎委員・小林愛美委員
- 事務局6名
瀧澤教育長・菊池教育部長・中島課長・浅見課長補佐
高橋主査・佐藤主事
- (欠席委員3名)
稲澤努委員・古澤典子委員・今野むつ子委員
- 4 内 容 別紙のとおり

《委嘱状交付式》

事務局 本日はお忙しい中、令和4年度第1回名取市文化振興懇話会にご出席いただきましてありがとうございます。

会議に先立ちまして名取市文化振興懇話会委員の委嘱状交付式を執り行います。

コロナ禍での開催となりますので、代表受領で行いたいと思います。代表として徳竹亜紀子さん、前へお進みください。

(委嘱状交付)

《第1回名取市文化振興懇話会》

<開会>

事務局 ただ今から、令和4年度第1回名取市文化振興懇話会を開会いたします。
初めに、瀧澤教育長よりご挨拶を申し上げます。

<あいさつ>

教育長 委員の皆様には、何かとお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。また、常日頃から本市の文化芸術行政につきましてご理解いただいておりますこと、感謝申し上げます。

さて、新型コロナについて、今、第8波ということで市町村ごとの感染者数が、報道されませんので、どこでどれくらい流行っているのかわかりにくい状況だが、教育委員会では市内の児童生徒の感染状況については、すべて把握しております。今まで1番週ごとの感染者が多かったのは8月中旬のお盆のあたりで1週間161名でした。1日20名近く感染していましたが、最近10月から段々増え始め、先週は191名の児童が感染しております。そのような中でも各学校において工夫して教育活動を展開しています。今日出席の委員の皆様におかれましてもそれぞれの立場から様々な活動を取り組まれていると存じます。本郷さんが会長職であります名取市文化協会においては、10月15～16日にはなとり文化芸術祭が開催されております。このように工夫しながら文化振興にご尽力いただいておりますことについても改めて感謝申し上げます。

本市では、令和2年3月に第2次名取市文化振興ビジョンを策定しました。これをどのように具現化していくかを昨年度から委員の皆様からの意見を伺いながら具体案について検討してきました。今日は2案に絞って委員の皆さまから様々な意見を頂戴できればと存じます。

なお、今回委員の皆様の新任期につきましては、2年としておりますので、昨年度からの継続で務めていただく方、新たに務めていただく方、今後とも名取市の文化振興・施策にご指導賜りますようお願い申し上げます。本日はどうぞよろしく申し上げます。

<新委員及び事務局紹介>

事務局 配布している座席表の順に自己紹介をお願いします。

(別紙座席表の徳竹委員から自己紹介)

ありがとうございました。稲澤委員、古澤委員、今野委員、は欠席の連絡をいただい

ております。

続きまして、事務局を紹介します。

(着席順に自己紹介)

以上となります。よろしくお願い申し上げます。

<役員相互選>

事務局

続きまして次第の4「役員相互選」に入ります。

設置要綱の第4条第1項に座長は委員の互選によって定めるとあります。互選にあたり、瀧澤教育長を仮座長にお願いします。

教育長

座長が決まるまでの間、仮座長を務めさせていただきます。座長については、互選で選出とのことでしたが、皆様いかがでしょうか。

委員

事務局案はありますか。

教育長

ただいま事務局案という意見がありましたが、事務局案を提示させていただいてよろしいでしょうか。

(委員了承)

教育長

それでは事務局案の提示をお願いします。

事務局

本郷委員にお願いできればと思います。

教育長

事務局案として本郷委員にお願いしたいとありましたが、委員の皆様いかがでしょうか。

(委員了承)

教育長

それでは本郷委員よろしくをお願いします。

事務局

それでは本郷座長からご挨拶いただきます。

座長

座長にご指名いただきました本郷でございます。委員の皆様におかれましてはコロナウイルス・インフルエンザの予防に努め、それぞれの立場でご活躍いただければと思います。今日は、よろしくお願い致します。

事務局

ありがとうございます。ここで、瀧澤教育長は公務の都合によりここで退席させていただきます。

(教育長退席)

事務局 この懇話会は「名取市審議会等の会議の公開に関する要綱」第2条に基づき「公開」の対象となっております。なお、本日の傍聴者はありませんことを報告いたします。

本日の懇話会の内容については、会議報告としてまとめ、後日、市のホームページに委員の氏名を伏せた上で掲載させていただく予定です。どうぞよろしくお願いいたします。

<議 題>

事務局 次に、5「議題」に入ります。名取市文化振興懇話会設置要綱第5条の規定により、懇話会の会議は座長が主宰するとありますので、本郷座長に進行をお願いいたします。

座長 それでは、暫時の間、座長の職を務めますので、委員各位のご協力をお願いいたします。

まず、はじめに職務代理者を私から指名したいと思います。渋谷武志委員をお願いいたします。

(渋谷委員了承)

座長 続けます。

(1) 報告事項 「令和4年度文化振興関係事業の実施状況について」事務局より説明願います。

事務局 (資料説明)

座長 ただいま説明ありました事項につきまして、委員の皆さんからご質問・ご意見等ございましたら発言をお願いいたします。

私は、名取市文化協会の会長を務めております。文化協会では例年10月に文化芸術祭を開催しております。文化協会は宮城県までのつながりがありまして、毎年県民文化祭を開催しており、今年は本吉町で開催され、名取市文化協会からは3点出展しました。

座長 ほかにありませんか。

ほかになければ報告事項については、ここまでにいたします。

次に、(2) 協議事項「名取市文化振興ビジョン(第2次)推進に係る事業について」事務局より説明をお願いします。

事務局 (資料説明)

座長 ありがとうございます。

まず、案1市民文化祭につきましては、以前から議題としてこの懇話会で皆様から意見を頂戴しており、ようやく具体的に動き出そうとしております。市民文化祭は2

0年前くらいに同じようなことを開催したことはありますが、市民文化祭としては名取市では初めての開催となります。これまで、名取市文化協会において、年に1回日頃の練習の成果の発表の場として芸術祭を開催しております。文化協会には個人と団体合わせて29あり会員は約500名が加入しておりますが、今年の参加団体は13であり、参加人数は約270名が展示やステージ発表を行いました。次年度は文化協会だけでなく加入していない市民へも発表の場を提供していきたいと考えております。委員の皆さんからご質問・ご意見等発言をお願いいたします。

委員 市民文化祭はとてもよい取り組みだと思います。(1)の報告事項でもありましたが、名取市内で文化芸術事業を幅広く行っていることが分かりました。市民文化祭においては、出来るだけ裾野を広げて、参加人数を制限するのではなく、基本的には参加したいと意思表示した方は参加させてあげる方向がいいと思いました。「文化芸術」と銘打つと敷居が高いと感じる方もいると思うので、名称は「市民文化祭」の方が自由に参加しやすいのかなと思いました。開催時間に関しまして、案として提示されております10時～15時の5時間で10団体となるとどんな方が参加されるかわかりませんが、1人30分の所要時間は長いと思いますので、1人でも多くの方が参加できるように1人10分程度で区切る方法がいいと思いました。

座長 ありがとうございます。事務局からなにかありますか。

事務局 1人30分は出演時間に限らず、舞台への出入りの時間も見込んでいます。また、リハーサルにおいても舞台製作や進行について調整が必要ですので、本番以上に時間を要します。舞台製作のスタッフとも調整した結果、10人の参加枠は少ないと感じるかもしれませんが、10団体程度とするのが適切だという結論に達した経緯があります。10団体が絶対的ではありませんが、これを20団体等にするには実務的な制限があるため、難しいと思います。

座長 参加人数については、展示の方は場所を工夫すれば何とかなるが、大ホールは事務局説明のとおり参加数に制限がかかってしまいます。たくさん参加希望があれば嬉しい限りですが。

(1)の報告事項の際にお伺いすればよかったが、折笠委員の所属団体である名取交響吹奏楽団が全国大会に出場した話、名取こどもミュージカルの公演の話をしてもらえませんか。

委員 北九州で開催された全国大会に出場しました。大会の前の週にコロナ感染者が数名でまして、十分な練習ができない状況でした。当日はなんとか全員陰性を確認し演奏することができましたが、コロナ禍であったため、外部の先生から指導してもらえない等の制限があり、自前でできる範囲での活動となりました。コロナ感染状況にもよるが、来年の10月の市民文化祭の時にどうなっているか不安ではあります。

委員 夏休みに入って1週間後の公演でした。ちょうど子供たちのコロナ感染が増えてきた時期で検査を受けながらなんとか公演できました。ハラハラしながら本番を迎えました。お客さんの前で発表できることは子供たちにとってもいい機会だし経験だし、お客さんから拍手をもらうことで日頃の練習の成果を発表する成功体験なのかなと思います。

座長 ありがとうございます。

委員 市民文化祭の件についてですが、佐藤委員の意見と同じで参加団体が10団体だと少ないと思います。文化会館という枠から考えているからであって、このままだと文化協会で開催している文化芸術祭と変わらないのではないかと思います。そもそもだが、市民文化祭は参加する人のためなのか、見に来た人が名取市の文化芸術を楽しむものなのか、このままだと参加する人のステージを提供するだけだと捉えられてしまいます。私は、祭りの当日は名取市のどこに行っても文化芸術の発表をしているようなイメージでした。出場団体を増やす方法としては、個人的には文化会館、サッポロビール園、イオンモール名取のスペースを借りて行うのもいいのではないかと、思います。

座長 地域という観点からみると、各公民館で毎年公民館祭りを開催しておりまして、地域活性化に繋がっており、毎年賑やかに開催しているところではございます。事務局から意見ありますでしょうか。

事務局 予算や人員の制約もあるので、ご意見として頂戴し、次年度以降の別の事業等で実施に向けて取り組めることがあるか、検討の材料として参考にさせていただきます。

座長 せっかく立派な文化会館があるので、毎日何かの催しが開催されているような姿が理想ではあります。

今回は、初めての市民文化祭ということでこのような形で取り組んでいき、文化振興に繋げていければいいかなと考えております。

委員 来年のコロナの感染状況にもよるが、参加団体を10団体に限ってしまうと、コロナ感染で参加できない団体が出た場合、寂しい感じになってしまう恐れがあると思います。そのため、複数開場で行うことでリスクを軽減させていくのもいいと思います。

委員 文化会館に限るのであれば、小規模で機材不要な団体がロビーで発表する等可能にしてみてもどうでしょうか。

委員 事務局からの説明の中でオンラインを活用とあったが詳しく教えてください。

事務局 当初はライブ中継を考えていたが、予算の範囲内では難しいため、撮影した映像を編集してダイジェスト版を作成しようと考えています。

委員 単純に定点カメラでライブ配信であれば無料なのでは。

事務局 定点カメラでずっとライブ中継となるとみている人がつまらないし、演者の表情もわからない、さらにWi-Fiを活用すると途中で止まってしまう可能性があるため、ライブ配信をするのであれば、カメラを複数台設置し、切り替えを行える配信ができるような見積をとりました。

また、ライブ配信ではなく、文化会館に直接見に来てほしい等の理由から、数年に一度の市民文化祭なので記録映像として撮影し、編集したものを公開していこうと考えております。

座長 名称についてはどうしますか。

事務局 皆さんから出た意見から、「市民文化祭」でいいのではないかという方向で捉えております。

座長 名称は「市民文化祭」でよろしいでしょうか。
(委員了承)

委員 参加団体が10団体程度ということであれば、大きな団体しか枠にはまらなくなるのではないかと思います。個人でも発表できる機会として、演奏等を自身で撮影してもらって、イオンモール名取館内の大きいビジョンに流してもらったらいいのではないのでしょうか。

座長 市民文化祭の周知としても有効かもしれない。よいところは取り入れて市民文化祭を良きものにしていきたいと思います。

案2の子ども向け歴史文化資料の作成とクイズ形式検討についてご意見はありますか。

これはいつから行うものですか。

事務局 6月～8月の市内小学校の歴史民俗資料館見学が行われるのでその際に配布するものから行う予定です。

委員 学習ノートにQRコードを掲載するのか、形式についてお伺いしたいです。また、オンラインコンテンツの活用はどのような場面を想定してますでしょうか。最後に、コンテンツの個数について教えていただきたいです。

事務局 形式については、資料館見学時に配布するクイズ形式の学習ノートにQRコードを直接掲載する予定です。個数については、すべてのクイズに掲載する予定ではありません。これから調整する予定です。資料館に行って初めて経験する体験や知識は大切にすべきだと思いますので、QRコードは見学後に配布する「回答編」に掲載し、資料館で見たものをさらに理解を深めたいといった時に活用してもらいたいと考えております。

委員 クイズ検定とのことだが、結果はどうなるか教えてください。

事務局 当初計画では、検定式のwebページを作成し、何問か回答したあとに「何問中何問正解しました」というようなものを想定しておりました。当初の計画とは逸れてしまっていますが、今回は市内全ての子どもたちが触れる機会のあるクイズ形式の学習ノートにQRコードを掲載し、これを拡充していく形で行いたいと考えております。

委員 検定結果として、何問解いたから何級です、メダル授与します、のような目に見えるような形で結果が分かると子どもたちのモチベーションにも繋がると思います。

座長 他に何かありますか。

(なし)

座長 委員各位のご協力によりスムーズに議事を終了することができました。ありがとうございました。進行を事務局にお返しいたします。

<閉 会>

事務局 本郷座長、委員の皆様、ありがとうございました。

次回懇話会開催日は現在未定ですが、今年度中にもう1回開催したいと考えております。開催日が決定しましたら、通知させていただきますので、よろしく願いいたします。

以上で令和4年度 第1回 名取市文化振興懇話会の一切を終了いたします。大変お疲れさまでした。

以上

(11:26 終了)

名取市文化振興懇話会委員構成

R4.4.1～R6.3.31委員一覧

区分	氏名	所属	備考	役職名
学識経験者	稲澤 努 <small>イナザワ ツトム</small>	尚綱学院大学 総合人間科学系	R4.4.1～R6.3.31	准教授
	徳竹 亜紀子 <small>トクタケ アキコ</small>	仙台高等専門学校 総合科学科	R4.4.1～R6.3.31	准教授
学校関係	古澤 典子 <small>フルザワ ノリ子</small>	宮城県農業高等学校	R4.4.1～R6.3.31	教諭
	佐藤 龍哉 <small>サトウ リウ哉</small>	宮城県美田園高等学校	R4.4.1～R6.3.31	教諭
	鈴木 博幸 <small>スズキ ヒロユキ</small>	名取市校長会	R4.4.1～R6.3.31	会長
行政及び 付属機関等	今野 むつ子 <small>イミノ ムツ子</small>	名取市文化財保護審議会	R4.4.1～R6.3.31	委員
芸術文化団体等	本郷 一浩 <small>ホンゴウ カズヒロ</small>	名取市文化協会	R4.4.1～R6.3.31	会長
	渋谷 武志 <small>シバヤ タケシ</small>	(公財)名取市文化振興財団	R4.4.1～R6.3.31	事務局長
	洞口 のり子 <small>ホウグチ ノリ子</small>	特定非営利活動法人パートナーシップな どり	R4.4.1～R6.3.31	副代表理事
	折笠 昭吉 <small>オリガサ アキヨシ</small>	名取交響吹奏楽団	R4.4.1～R6.3.31	団長
	赤沼 貴子 <small>アカヌマ タカ子</small>	名取こどもミュージカル実行委員会	R4.4.1～R6.3.31	実行委員長
企業関係	松藤 伸太郎 <small>マツフジ シンタロウ</small>	サッポロビール(株)仙台工場	R4.4.1～R6.3.31	副工場長兼総務部長
	小林 愛美 <small>コバヤシ マナミ</small>	イオンモール(株)イオンモール名取	R4.4.1～R6.3.31	営業担当